地域密着型金融の取り組み

I. 地域密着型金融の取り組み方針

当行は静岡県を基盤とする地域金融機関であり、地域密着型金融への取り組みは恒久的な課題と位置づけております。 平成28年4月よりスタートした第26次中期経営計画「ADVANCE AS ONE~地域・お客さまとともに、持続的成長を実現するために~」では、目指す姿を『存在意義の発揮』とし、基本方針である「金融仲介機能の向上」において、「カスタマーイン戦略による法人営業強化」「マーケットイン戦略による個人営業強化」「地方創生への積極的な参画」等を重点施策として掲げております。

お客さまのライフステージに合わせた経営ニーズを幅広く捉え、より強い信頼関係を築き、真に役立つ商品・サービスの提供を通じて、地方創生に積極的に取り組んでまいります。

■地方創生への取り組み

地方創生を推進する体制として「地方創生デスク」を設置するとともに、地区駐在執行役員と全営業店長を地方創生推進担当者として配置し、各地域の戦略策定会議等への積極的な参画を通じ、静岡県の地方創生に向け清水銀行グループが一体となって取り組んでまいります。

平成29年6月現在、静岡県内13市町と地方創生に係る連携協定等を締結し、10市町の総合戦略策定に向けた会議等に参加しております。

●しみず地方創生私募債(愛称:しずおかの未来)の取り扱い

平成28年11月、未来を切り開く子どもたちの成長を応援するため、しみず地方 創生私募債(愛称:しずおかの未来)の取り扱いを開始しました。教育水準の向上による地域社会の発展を目的に、当行が私募債の発行企業から受け取る手数料の一部で書籍やスポーツ用品等の教育関連物品を購入し、発行企業が指定する静岡県内の学校に寄贈します。平成28年度は6件、450百万円を実行しました。



●しみずパートナー企業との提携開始

平成28年10月より取り扱いを開始したキャッシュカード、クレジットカード、Pontaカードが一体となった[SHIMIZU With Card]は、発行枚数28,000枚を突破しました。(平成29年5月末時点)

地方創生を目的に、「SHIMIZU With Card」の提示で割引やサービス等が受けられるしみずパートナー企業7社と提携しました。地域の提携企業へ相互に送客し、地域の活性化に貢献してまいります。



SHIMIZU With Card

市町との連携協定等の締結

市町名	連携内容			
三島市	パートナーシップ協定			
静岡市	包括連携協定			
磐田市	包括連携協定			
掛川市	包括連携協定			
島田市	包括連携協定			
藤枝市	包括連携協定			
沼津市	パートナーシップ協定			
伊東市	創業支援に係る相互協力合意			
富士宮市	包括連携協定			
富士市	包括連携協定			
袋井市	包括連携協定			
菊川市	包括連携協定			
裾野市	パートナーシップ協定			

●市町における総合戦略策定に向けた会議等への参画

市町名	会議体
函南町	地方版総合戦略策定に伴う産業振興・基盤整備PD会議
富士市	富士市まち・ひと・しごと創生懇話会
静岡市	静岡市創生会議(静岡県創生県民会議中部地域会議)
藤枝市	藤枝市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会
島田市	島田市まち・ひと・しごと創生金融機関会議
吉田町	吉田町まち・ひと・しごと創生地域金融機関懇話会
菊川市	菊川市地方版総合戦略金融機関懇話会
掛川市	掛川市地域プラットホーム幹事会
磐田市	磐田市まち・ひと・しごと創生金融機関懇話会
袋井市	輝く"ふくろい"まち・ひと・しごと創生金融機関支店長会議

Ⅱ. 地域密着型金融への取り組み状況

■1. 創業・新規事業を目指すお客さまへの支援

●創業・新規事業支援

創業・新規事業に関わる事業計画の策定や公的助成制度・支援融資の活用について、積極的にサポートを行った結果、平成28年度は243件の創業・新規事業支援を実施しました。

●認定支援機関としての新事業計画策定支援

静岡県産業振興財団等の各団体と連携し、経営革新計画・新連携計画の策定をサポートしてまいりました。また、お客さまの新たな製品の開発等への取り組みに対して「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」等の公的支援制度を通じて、当行は認定支援機関として計画策定から資金繰りまで幅広くサポートした結果、平成28年度は104件の新事業の計画策定支援に取り組みました。

■ 2. 成長段階における更なる飛躍が見込まれるお客さまへの支援

●海外展開支援の強化

平成29年7月、タイ王国バンコクに、当行初の海外拠点となる「バンコク駐在員事務所」を 開設しました。

静岡県には製造業を中心に、数多くの企業が海外に進出しています。特に東南アジアへの海外進出が続いており、タイにはお取引先70社以上が進出しています。

当行は、これまで海外金融機関との提携、国際協力銀行(JBIC)との協調融資、本部ソリューション担当者の増員など、国内での海外展開支援の充実を図ってまいりました。

「バンコク駐在員事務所」は、すでに海外進出しているお客さま、これから海外展開を目指すお客さまに対する現地での支援を行うため、タイの経済状況等の情報提供、現地視察のアテンド、外部機関の紹介、お取引先とのマッチングなど、お客さまへのサポートを強化してまいります。



バンコク駐在員事務所の概要

名		称
所	在	地
開	設	В
人		員

主な業務内容

株式会社清水銀行
バンコク駐在員事務所
The Chine Part Hall Barrier Barri

The Shimizu Bank, Ltd. Bangkok Representative Office

Level 8, 1 Silom Road, Bangrak, Bangkok 10500 Thailand 平成29年7月3日

2名(うち派遣行員1名、現地スタッフ1名)

- (1) 国内お取引先の海外進出及び貿易取引のサポート
- (2) 経済動向・市場動向・投資環境などの情報収集及び情報発信
- (3) 現地金融機関等の提携先との関係強化



●成長分野への融資・資金供給手段の多様化

当行は「医療・介護」「事業承継・M&A」「公的制度」等の分野に対し、ソリューション支援担当者を本部に増員し、営業店の支援体制を強化することで、お客さまのニーズに迅速に対応する体制を構築しております。

第26次中期経営計画で掲げている「カスタマーイン戦略による法人営業強化」を実現するため、「しみず地方創生ローン」「しみずビジネスローン」「しみず地方創生私募債」「しみず売掛債権担保ローン」の取り扱いを開始し、お客さまへの資金供給手段を多様化させました。

また従来から取り組んできた動産・債権譲渡担保(ABL)を活用した融資については、平成29年3月末時点で93件、130億86百万円となりました。

●ビジネスマッチング

お客さまからのビジネスマッチングのご依頼や行員が営業活動により入手した情報などを行内情報システムに集約し、 最適なビジネスマッチングのご提案ができるようコーディネート等に取り組んでおります。

これらの取り組みにより多くのビジネスマッチングが実現した結果、平成28年度は1,249件が成約となりました。

● 「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み状況

当行は、経営者保証に関するガイドラインの趣旨を十分に踏まえ、経営者保証に依存しない融資の一層の促進に取り組んでおります。

項 目	平成28年度実績		
新規に無保証で融資した件数(A)	1,577件		
経営者保証の代替的な融資手法として、ABLを活用した件数(B)	1件		
保証契約を変更した件数	3件		
保証契約を解除した件数	138件		
ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	1件		
新規融資件数(C)	9,881件		
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合[(A) + (B)]/(C)	15.97%		

■3. 経営改善・事業再生・事業承継等における支援

●経営改善支援

経営改善計画策定支援や定期的なモニタリングの実施により、お客さまの経営課題解決に向けた提案・支援を行ってまいりました。また、経営改善計画策定などの行内研修を実施し、積極的に行員の経営支援ノウハウの共有や企業に対する目利き力の向上に取り組んでまいりました。

経営改善支援の取り組み状況

平成28年度期初のご融資先数(正常先除く) ① ① 4	1,306
うち経営改善支援取り組み先数(正常先除く) ②	123
うち経営改善計画策定先数(正常先除く) 3	120
うち平成28年度中のランクアップ先数(正常先除く) ④	1

経営改善支援取り組み率	②÷1)	2.9%
経営改善計画策定率	3÷2	97.6%
ランクアップ率	(4)÷(2)	0.8%

注1:小数点第2位を四捨五入しております。

●外部機関との連携

経営改善・事業再生・事業承継等の支援については、外部機関との積極的な連携により、効果的かつスピーディな対応に努めてまいりました。

・ 主な外部機関

「静岡県中小企業再生支援協議会」「静岡県経営改善支援センター」「しずおか中小企業支援ネットワーク」「未来事業」「静岡県事業引継ぎ支援センター」「日本M&Aセンター」「みらいコンサルティング」「静岡県中小企業診断士協会」「名南経営コンサルティング」「地域経済活性化支援機構(REVIC)」

●事業承継・M&A支援

事業承継を検討されているお客さまに向けては、本部担当者と営業店が協調し、個別相談の実施や外部機関と連携した M&A等の支援策を提供することにより、お客さまをサポートしてまいりました。

注1.70xx(第2世代26百五人して67分49。 注2:ランクアップ先は平成28年3月末の債務者区分が平成29年3月末時点で上方 遷移した先。

■ 4. 地域活性化に向けた取り組み

●「アグリビジネススクール(セミナー)」の開催

平成29年6月、株式会社デンソーとの共催による「アグリビジネススクール (セミナー)」を開催しました。トヨタ系自動車部品メーカーであり、ハウス農業における最先端の環境制御技術を有する株式会社デンソーが有する知見とネットワークを活用し、「栽培技術」「用地取得」「設備投資」「販路拡大」をテーマに講演を行い、当日は36名が参加しました。



アグリビジネススクール(セミナー)

● 「産学官金連携マッチングセミナー」の開催

平成29年6月、静岡県立大学及び富士市と共催による「産学官金連携マッチングセミナー」を開催しました。静岡県立大学が地域企業と行う産学連携の取り組みについて、企業の具体的な事例を交えて解説することで、取引先企業が県立大学へ相談しやすい環境づくりをするとともに、取引先企業に対する当行の事業性評価の取り組みの質を向上させることを目的に開催し、当日は41名が参加しました。



産学官金連携マッチングセミナー

■ 5. CSRへの取り組み

静岡大学・静岡県立大学での講義

当行では、CSR活動の一環として、静岡大学・静岡県立大学で講義を行っております。静岡県立大学での講義は平成17年から毎年継続して実施しており、昨年度で12年目を迎えました。

また、平成29年度から静岡大学での講義を開講しました。当行の役職員が地域の経済動向や「地方創生」をテーマとして講義を行っております。今後も地域の将来を担う若手人材の育成、さらに地域金融機関として地方創生に貢献する取り組みを続けてまいります。



静岡大学「地域創造特論」

●由比支店の新築移転オープン

平成29年3月、由比支店を新築移転しました。新由比支店は当行所有林のヒノキ材を内装の一部に使用し、温かみのある店舗としております。

また、当行の店舗で初めて避難階段と備蓄倉庫を設置し、静岡市の「津波避難ビル」の認定を受けております。備蓄倉庫には災害時に30名が3日間過ごせる食料等を備蓄しております。



由比支店

●「しずおか未来の森サポーター」活動

当行は、「しずおか未来の森サポーター企業」として名勝三保松原の保全育成・景観維持活動を行っております。平成28年11月、入行内定者による植林・清掃活動を行いました。

当行の創立80周年にあたる平成20年から毎年継続して植林活動に取り組んでおり、これまでに植林したマツは合計1,690本となりました。今後も地域社会に貢献する取り組みを積極的に行ってまいります。



植林活動

Ⅲ. 平成28年度実績と平成29年度数値目標

項目	平成28年度			平成29年度目標
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	目標	実績	達成率	干成29平反日悰
創業·新規事業支援融資実行件数	180件	243件	135.0%	180件
ビジネスマッチング成約件数	1,200件	1,249件	104.0%	1,200件
海外進出支援相談受付件数	100件	81件	81.0%	100件
認定支援機関等外部専門家・外部機関との連携件数	50件	51件	102.0%	50件